

第 43 回岐阜県移動美術館 ナンヤローネ ミュージアムのご案内

心に残るふるさとの景色

細江光洋の世界展



細江光洋「わら細工」昭和 40 年頃
ゼラチン・シルバー・プリント 岐阜県美術館蔵

岐阜県美術館は、県民に親しまれ、開かれた美術館としての活動をより幅広く推進するため、開館 2 年後の 1984(昭和 59)年より「岐阜県移動美術館実施要綱」に基づいて移動美術館を実施している。

第 43 回目となる今回は、今日多くの人々が思い描く「飛驒高山」のイメージを作った写真家 細江光洋(1920-2003)の回顧展を飛驒市美術館で開催する。戦後の飛驒の消えゆく風景や過ぎ去った情景を、一人の写真家の眼を通して写真による記録と人々の記憶により展望する。

県民文化の森 **岐阜県美術館**
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

展覧会名	心に残るふるさとの景色 細江光洋の世界展
会場	飛驒市美術館
会期	平成30年11月10日(土)～12月9日(日) 開館時間／9時00分～17時00分(入場は16時30分まで) 休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
料金	一般200円(160円) ※()内は20名以上の団体料金 高校生以下無料
主催	岐阜県美術館、飛驒市教育委員会
後援	高山市、白川村、飛驒市、高山市教育委員会、白川村教育委員会 飛驒市文化協会、(一社)高山市文化協会、(一社)飛驒・高山観光コンベンション協会、(一社)白川郷観光協会、(一社)飛驒市観光協会
協力	(有)細江スタジオ
お問合せ	飛驒市美術館 TEL 0577-73-3288

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：後藤 企画展担当学芸員：松岡
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1313 FAX 058-271-1315
<http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp>
E-mail: goto-hiroyukil@pref.gifu.lg.jp

第 43 回岐阜県移動美術館 ナンヤローネ ミュージアム

心に残るふるさとの景色 細江光洋の世界展

展覧会について

高山市に生まれた細江光洋は、撮影に携わった岩波写真文庫『飛驒・高山』（岩波書店、1953年）をはじめ、今日多くの人が思い描く「飛驒高山」のイメージを作った写真家である。戦後の飛驒における人々のくらしや風景を、刻々と変化していく姿として撮り続けた。自然体で捉えた写真には、ほんものの飛驒の姿に宿る神秘的な美しさが切りとられている。それは現代を生きる私たちにとっても心の故郷（ふるさと）と重なって見えるからかもしれない。

本展は、岐阜県美術館コレクションから、岐阜県を代表する写真家 細江光洋を紹介する回顧展として、ゆかりの地 飛驒市で開催するものである。消えゆく風景や過ぎ去った情景を、ひとりの写真家の眼をとおして、写真による記録と人々の記憶によって展望していく。

本展の見どころ

(1) オリジナルプリント及びビンテージプリント、約60点を展示

デジタルカメラ、スマートフォン等のメディア機器の発達及びSNSの普及により、人々にとって写真を撮影・発表する行為は身近なものになっている。人によっては、より見栄えのする色彩豊かな被写体を求め撮影・発表する行為そのものが生活習慣の一部となっている。現代社会において「写真」は瞬時に記録できる方法、自分自身を発信し評価を得るツールという側面をもつものになっているが、細江の写真は、細江が生きた飛驒に対する思いを記録し続けたものである。

本展で紹介するオリジナルプリント及びビンテージプリントは、作家自身による現像時の状態を保持し、撮影当時に細江が眼にした飛驒びとの姿を垣間見ることができる。

(2) 1995年 ユネスコの世界文化遺産に登録された「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の原風景

世界文化遺産への登録には、世界遺産登録基準を満たすことが求められる。「白川郷・五箇山の合掌造り集落」は、『人類の歴史上重要な時代を例証する建築様式、建築物群、技術の集積または景観の優れた例。』『ある文化（または複数の文化）を代表する伝統的集落、あるいは陸上ないし海上利用の際立った例。もしくは特に不可逆的な変化の中で存続が危ぶまれている人と環境の関わりあいの際立った例。』を満たしたと見なされ、登録がなされている。

しかし、時代の流れと世界文化遺産に登録されたことで観光地化が進んだ白川郷の合掌造り集落。その原風景を半世紀にわたって撮り続けた細江は、ひとつの時代の生活の目撃者となり、写真は目撃の成果となっている。かけがえない記録をご紹介します。

(3) スライドショーによる展示写真が撮影された前後の写真を公開

細江が撮影した高山、古川、神岡、白川、河合等の飛驒びとの姿及び風景など、展示しつくせない写真の数々をスライドショーで公開する。撮影過程の写真からは、飛驒びとの心の動きが見てとれる。

(4) 細江が撮影した場所に約40種類の「特別版ポスター」を展示

飛驒市美術館をメイン会場にしながら、街中にも展示がとびだす。細江の写真が撮影された場所に約40種類の「特別版ポスター」を展示し、専用マップを配布。現在の飛驒の風景と失われた飛驒の風景に同時に出会う機会を作る。

第 43 回岐阜県移動美術館 ナンヤローネ ミュージアム

心に残るふるさとの景色 細江光洋の世界展

細江光洋

プロフィール



細江光洋 Koyo HOSOE 1920/大正 9—2003/平成 15

1920 年、高山市上二之町に生まれる。本名 綱一。旧制岐阜県大垣中学校（現・岐阜県立大垣北高等学校）を卒業後、飛驒日日新聞社写真部勤務の父の助手を務める。その後富山新聞高山支局の記者となり、高山別院の大火などを取材する。古老への取材を通じ、民俗資料、飛驒の風土に興味を抱く。

1953(昭和 28)年に富山新聞を退社し、高山市内に「細江光洋スタジオ」開業。撮影に携わった『飛驒・高山』や、共著『飛驒—風土と民俗』（朝日新聞社、1964 年）、『飛驒路の四季』（朝日新聞社、1970 年）、『カラー飛驒路の魅力』（淡交社、1978 年）をはじめ、『細江光洋写真全集』（全 3 巻、郷土出版社、1993-1995 年）、『北アルプス乗鞍岳 いきづく大自然と人びと』（丹生川村、1995 年）、『世界遺産 白川郷—幻の集落を追って 50 年』（郷土出版社、1996 年）、『写真集 雪国—北飛驒かわい』（河合村、1998 年）を刊行。様々な観光ポスターやガイドブックの製作に関わり、飛驒の魅力を日本のみならず世界へと発信した。

1994 年(平成 5 年度) 岐阜県芸術文化奨励賞受賞

1997 年(平成 9 年度) 岐阜県芸術文化顕彰受賞 2003 年、高山市で没

展示会場案内



交通案内

- ・JR にて、高山本線「飛驒古川駅」下車、跨線橋を渡り徒歩 5 分。
- ・お車にてお越しの場合は、文化村西駐車場、市営若宮駐車場をご利用ください。
- ・東海北陸自動車道、清見 IC より卯の花街道を通り約 30 分。

関連イベント

オープニング ギャラリートーク

細江光洋が撮影した飛驒びとの暮らしや飛驒の風景は、現代社会を生きる人々にどのように映るだろうか。企画担当学芸員が展示会場で語ります。

日 時：11月10日（土） 11：00－11：30

会 場：飛驒市美術館 展示会場

担 当：黒木祐香（飛驒市教育委員会 学芸員）

松岡未紗（岐阜県美術館 学芸員）

※事前申込不要、無料、ただし入館料必要

グラノワフォトの 感性を高める 撮影アートワーク

技術を学ぶのではなく、世の中にある構図とは別に自分だけの線を見つけて感性を引き出すアートワークを行います。撮影した作品はA4サイズに現像し、本展会期中、古川郷土民芸会館に展示します。

日 時：11月11日（日） 9：30－14：00

会 場：飛驒市美術館 研修室

講 師：糸井ナオミ（granowa photo 代表・クリエイター）

対 象：8歳以上、先着10名

料 金：大人3,000円 小人1,500円

持ち物：カメラ

（フィルム以外のもの。デジタルカメラ、一眼レフ、スマートフォン等）、カメラとパソコンをつなぐコード

※事前申込制、飛驒市美術館（0577-73-3288）にお電話ください。

作品鑑賞会



岐阜県美術館出張ワークショップ「飛驒びとの心ってナンヤローネ」

日 時：12月1日（日） 13：30～15：00

会 場：飛驒市美術館 展示会場

担 当：岐阜県美術館 教育普及係

対 象：すべての人

※事前申込不要、無料、当日13:00～13:30受付、ただし入館料必要

特別企画

細江光洋が遺した写真は、たくさんの懐かしい飛驒びとや景色が被写体となっています。飛驒びとに集まっていただき、作品の前で語りあいます。

みんなでわいわいトーク「飛驒びと全員で語る、飛驒の風土」

日 時：11月11日（日）／25日（日）／12月9日（日）

各日14：00～

会 場：飛驒市美術館

※事前申込必要、無料、ただし入館料必要、途中参加・退場可

第 43 回岐阜県移動美術館

ナニヤローネミュージアム

心に残るふるさとの景色

細江光洋の世界展



広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 :)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 (月号) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

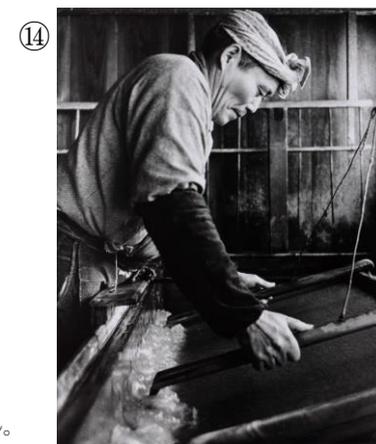
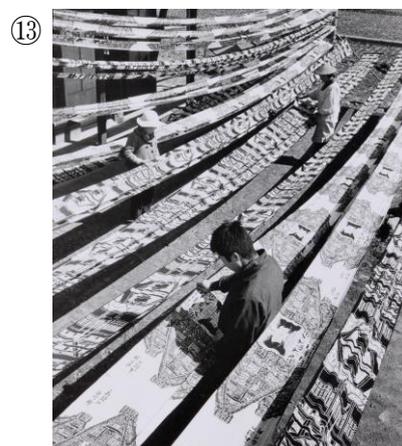
 はい 画像データ到着希望日 (月 日) いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記	全作品ゼラチン・シルバー・プリント
<input type="checkbox"/>	①	細江光洋「わら細工」河合村角川・昭和 40 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	細江光洋「起し太鼓」古川町・昭和 40 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③	細江光洋「瀬戸川」古川町壺之町・昭和 36 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④	細江光洋「菜洗いする子供」古川町殿町・昭和 32 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	細江光洋「雪の日」白川村・撮影年不詳	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	細江光洋「吉島家の虫干し」高山市大新町・撮影年不詳	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	細江光洋「鶏芸」上宝村一重ヶ根・昭和 38 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	細江光洋「薪を運ぶ子供」丹生川村旗鉢・昭和 24 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	細江光洋「御神酒」宮村・昭和 35 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑩	細江光洋「かまくら」河合村角川・昭和 40 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑪	細江光洋「早苗をもつ少女」清見村三日町・昭和 36 年 6 月	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑫	細江光洋「あいさつ」白川村芦倉・昭和 32 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑬	細江光洋「染め物」高山市松本町・昭和 37 年頃	岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑭	細江光洋「紙すき」河合村角川・昭和 40 年頃	岐阜県美術館蔵

■ 広報画像一覧



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。